



わたなべ ひでゆき 渡部 英幸 議員

**問** 指定管理料が削減されている団体もあるが。

**答** 各団体から収支計画が提出され納得の上で決定しているので、町が一方的に削減はしていない。

**問** 統合する両社の末端の従業員に就労条件など十分説明したのか。

**答** 基本的には現状と変わらず、社員からは反対意見は出ていない。

**問** 統合後はどのような組織体制で運営していくのか。

**答** 組織を専務性とし、渉外課、総務課、事業課の3課制とし、その下に係長、主任を配置し事業運営する。

**問** 観光開発(株)とまちづくり(株)が統合すれば、年間の債務負担行為額(指定管理委託料)がまた増えるのでは。

**答** 観光開発(株)とまちづくり(株)が統合すれば、年間の債務負担行為額(指定管理委託料)がまた増えるのでは。

**問** 観光開発(株)とまちづくり(株)の統合目的は

**答** 労働力の確保と新しい事業に挑戦できる仕組みを作る



▲道の駅

**問** そろそろ町の施設全体の縮小を本気で考える時期ではないか。

**答** 私の方針に納得できないければ、新しい指導者が町政運営を行っていくべき。

**問** 建設中の保育所は5億5千万円を超える予算となっているが、保育児童と直接に接する職員の対応が何より大切では。

**答** 本町面積の90%が山林の町なので、できるだけ子供たちが育つ環境のなかで、木のぬくもりや木の香りがする場が必要と考え進めているが、引き続き保育士の募集を行っていききたい。



▲や・すまっしえ

**問** 財政調整基金が減っている。施設の必要性を見極め、町民の理解と協力を得ながら実行していく時期では。

**答** 新しい血を入れて、新しい町を作り、雇用の場や将来に残さなければならぬ施設を考えながら、町の活性化のスピードは落とさない形で進めていく。

**問** 幼児をあずかる保育所運営の考えは

**答** 環境を整えるため保育士確保に取り組む

**問** 令和5年度の関保育所職員体制は、所長、保育士5名、栄養士(兼務)1名、保育支援員3名の体制で示されていたが、現在の職員体制は。

**答** 現在、所長、保育士4名、栄養士(兼務)1名、保育支援員3名体制となっているが、保育支援員1名は保育士資格を有しているため、国の定める配置基準は満たしている。

**問** 令和5年4月の入所者見込みは3歳児未満12名、3歳児8名、4歳児7名、5歳児5名の合計32名となっていたが、現在の入所者数は。

**答** 令和5年4月現在の入所者数は29名で、その後、11月末までに3名の新規入所者と1名の退所者があり、現在は31名となっている。

**問** 保育所を利用している家族や保護者団体から、保育所運営に対する意見や直接的な要望などはあるのか。

**答** 保護者から保育職員数を少しでも増やしてほしいという意見を聞いている。



▲建設中の保育所



▲保育所の完成は3月下旬を予定している

**問** 保育所職員の出入りが際立って多いように思われるが、幼児をあずかる保育所運営に対する考えは。

**答** 今回、建築を進めているが、建物だけが立派でも中身が整っていないならば保育所としての体をなさない。

**問** 現在、保育士1名に新規採用通知を出しているため、4月から来てくれることを願っている。

**答** さらに第2次募集として、保育士、保健師、行政職員を若干名公募している。



たかはし きくこ 高橋 きく子 議員